

京都大学大学院文学研究科

2026年度

修士課程（思想文化学専攻・行動文化学専攻）

夏期学生募集要項

（本研究科の修士課程は、大学院設置基準（第4条）にいう博士課程の前期2年の課程です。）

2025年4月

京都大学大学院文学研究科

〒606-8501 京都市左京区吉田本町
電話 (075) 753-2710 (教務掛)
<https://www.bun.kyoto-u.ac.jp>

京都大学大学院文学研究科アドミッション・ポリシー

文学研究科修士課程

京都大学文学研究科修士課程においては、人間の諸活動の原理的な解明とその諸活動が有する価値を問い直すことを通じて、行動科学を含む広義の人文学に関わる学術について教授・対話することを根幹の教育理念とする。この理念に基づき、①基盤的・先端的な専門知識、②新たな知を創造しうる能力を有し、③高い倫理性と強い責任感、④研究成果を世界に発信できる語学能力、をそれぞれ有する研究者および高度な専門性を必要とする職業を担いうる人材を育成することを教育目標とする。

この教育目標を達成するために、本研究科修士課程は、専門分野を学ぶための十分な基礎学力を具えており、人文学に関わる諸問題の解明を目指し、自由の学風を重んじる本学の基本理念を踏まえながら、新たな知的価値を創出することのできる学生を求める。

この教育目標にそって、入学者選抜においては、以下の点を評価する。

1. 志望分野に関する専門的知識を有しているとともに、人文学全般にわたって広い知識をもっている。
2. 志望分野において自らが主体的に問題を発見し、原典や一次資料の適切な分析に基づいてそれを解決する能力をもっている。
3. 将来国際的な場でも活動しうるだけの外国語能力の基礎を具えている。

入学後には、これらの知識や能力を基礎としつつ、計画的な修士論文指導を受け、特殊講義および参加型の演習授業などで学ぶことを通して、専門家としての責任感と倫理性をもって、オリジナリティを有する研究を進め、国際的に活躍していく能力を身につけることが期待されている。

入学試験においては、そうした入学後の研究を実り多いものとすることができる程度に、上記の三項目の知識や能力が具わっているかを判定する。具体的には、それぞれの専門分野に応じて指定される外国語試験、志望する専門分野に関する試験、提出論文を中心とした口頭試問を総合的に評価して判定を行う（本募集要項を参照）。

1. 募集専攻(専修)

専攻	専修			
思想文化学	哲 学	西洋哲学史	日本哲学史	倫理学
	宗教学	キリスト教学	美学美術史学	
行動文化学	心理学	言語学	社会学	地理学

2. 募集人員 各専修 若干名

3. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者、あるいは2026年3月31日までに該当する見込の者

- (1) 日本の大学又は専門職大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（注）①
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者（注）①
- (5) 我が国において、外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下この項において同じ。）の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者（注）①
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者（注）①
- (7) 文部科学大臣が指定する専修学校の専門課程を文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 大学又は専門職大学に3年以上在学した者（学校教育法第102条第2項の規定により、これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、本学において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者（注）②
- (10) 本学において、個別の入学資格審査により、大学又は専門職大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの（注）②

（注）出願に際して教員とのコンタクトは不要です。

- ① 外国の大学を卒業した者及び卒業見込みの者、又は外国において学士の学位を取得した者及び取得見込みの者は、学歴の事前確認をしますので、京都大学アドミッション支援オフィス（AAO）を通じて照会してください。同時に出願資格審査申請書（※）と卒業（見込）証明書（英文も可）または卒業証書（原本に限る）を2025年6月2日（月）までに教務掛へ提出（郵送の場合は必着）してください。

資格確認をしないで出願した場合は出願書類を受理しません。

ただし、京都大学に研究生として在学中の者は不要です。

※所定の様式を文学研究科のWebサイトよりダウンロードして使用すること。

(<https://www.bun.kyoto-u.ac.jp/admission/masters-exam/>)

京都大学アドミッション支援室（AAO）

(<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/students1/ku-aao.html>)

【AAO申請（申請書）入力についての注意点】

- ・「推薦状」と「日本語能力試験等の補足資料」の提出は不要です。
- ・「Statement of Purpose」は、所定の様式をダウンロードした後、白紙のまま（何も入力せず）、添付してください。

- ② (9)及び(10)により出願する者は、出願に先立ち資格審査を行いますので2025年6月2日（月）までに教務掛に照会してください。期日までに照会せずに出願した場合には出願書類を受理しません。

4. 出願手続き

出願手続きは「京都大学Web出願システム」で行います。

出願期間内に、「Web出願システムでの出願登録」、「入学検定料納入」、「出願書類の提出（郵送をすること）」により完了します。

（「Web出願システムでの出願登録」のみでは出願手続きは完了しませんので注意してください。）

※京都大学文学部卒業者及び卒業見込み者については「出願書類の提出（郵送）」は必要ありません。

Web出願システムのページには、以下のURL からアクセス可能です。

<https://kjs.gakusei.kyoto-u.ac.jp/01bungaku-master2026summer>

- ・ Web出願登録および入学検定料納入期間
： 2025年6月 6日(金)～19日(木) 16時
- ・ 出願書類受理期間： 2025年6月 13日(金)～19日(木) 16時

(1) 入学検定料

入学検定料 30,000円

下記により入学検定料を納入後、「京都大学 EX 決済サービス」サイトから「入学検定料収納証明書」をダウンロードして、Web 出願システムでの出願登録の際にアップロードしてください。

【振込・納付期間】2025 年 6 月 6 日（金）～6 月 19 日（木）（期間外取扱不可）

「京都大学 EX 決済サービス」サイト

(<https://www3.univ-jp.com/kyoto-u/let/>)

にアクセスし、所定の手続きにより納入してください。

支払い方法について不明な点があれば、以下に問い合わせください。

「京都大学 EX 決済サービス」ヘルプデスク

TEL 03-6837-7944

受付時間 10:00～18:00

問い合わせ受付期間：2025 年 6 月 6 日（金）～19 日（木）

※手数料（650 円）は出願者負担となります。

※必ず「納入者名」が出願者本人の氏名であることを確認のうえ納入願います。

（出願者以外の名義で納入された場合は、出願を受理できない可能性があります。）

【注意事項】

平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災、平成 28 年 4 月に発生した熊本地震、平成 30 年 7 月豪雨、北海道胆振東部地震及び令和元年台風第 19 号、令和 2 年 7 月豪雨、令和 6 年 1 月能登半島地震による災害救助適用地域において、主たる家計支持者が被災した者で、罹災証明書等を得ることができる場合は、入学検定料を免除することがあります。

免除を希望する者は、6 月 2 日（月）までに、文学研究科教務掛へ連絡してください。

なお、日本政府（文部科学省）国費外国人留学生は検定料の納付は不要ですが、その旨を証明する所属大学発行の証明書をアップロードしてください。

また、入学検定料を振り込んだが出願しなかった場合、誤って二重に振り込んだ場合等には、必ず文学研究科教務掛に速やかに連絡し、返還請求の手続きを行ってください。その際、「入学検定料収納証明書」が返還手続きに必要ですので、なくさないよう注意してください。

(2) 出願書類

Web 出願システムでの出願登録には、以下の書類等が必要です。Web 出願システムでの案内に沿ってアップロードしてください。その上で、◎印の書類は原本を以下に記載の通りに必ず「速達」の「簡易書留郵便」で送付してください。（持参は認められません。）

※京都大学文学部卒業者及び卒業見込み者については、出願書類の提出（郵送）は不要です。（Web 出願での登録のみで手続きは完了します。）

※アップロードするファイル形式は原則 PDF 形式（証明写真等一部を除く）でフルカラーのものに限る。全ての文字や写真が鮮明に表示されていることを確認すること。証明書等はスキャンしたものを PDF 形式に変換しアップロードすること。

	1	証明写真	上半身脱帽正面向きで出願前 3 か月以内に撮影した修正・加工していないもの（ファイル形式: JPEG/JPG）
	2	小論文等の課題	後述 7 ページ記載の専修ごとの説明を参照したうえで作成すること。
◎	3	出身大学成績証明書	京都大学文学部卒業者及び卒業見込み者は提出不要
◎	4	出身大学卒業証明書 又は卒業見込証明書	京都大学文学部卒業者及び卒業見込み者は提出不要 （出願時に大学院を修了している者は、出身大学院の修了証明書を併せて提出すること。）
	5	入学検定料収納証明書	入学検定料納入後「京都大学 EX 決済サービス」サイトからダウンロードしたもの
	6	住民票 （外国人留学生のみ）	外国人留学生は、市・区・町・村長の発行する住民票（在留資格、在留期間が記載されたもの）、もしくは在留カードの両面の写しを提出すること。 ただし、海外在住者はパスポートのコピー（顔写真、氏名、国籍等が掲載されているページ）を提出すること。
◎	7	その他 （該当者のみ）	次の(1)から(3)のいずれかであって、学位規則第6条第1項の規定に基づき、大学評価・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定を受けている専攻科に在籍する者で、3 ページに記載の出願資格(2)に該当する見込みの者は、上記書類のほか、当該専攻科の「修了見込証明書」及び「学士の学位授与申請予定者である旨の証明書」（様式随意：学位が得られなくなった場合は、速やかに通知する旨の記載があるもの）を提出すること。 (1) 修業年限 2 年の短期大学に置かれた修業年限 2 年の専攻科 (2) 修業年限 3 年の短期大学に置かれた修業年限 1 年の専攻科 (3) 高等専門学校に置かれた修業年限 2 年の専攻科

・ 出願書類の送付先

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院文学研究科教務掛

「(2) 出願書類」で説明した書類（◎印のみ。原本）をまとめて一つの封筒に入れ、必ず「速達」の「簡易書留郵便」で送付してください。その際、郵送用封筒の表に「大学院修士課程夏期入学試験出願書類在中」のラベル（所定用紙*）を貼り付けてください。

なお、出願書類については、出願書類受理期間後に到着したものは受理しないのでゆとりを持って郵送してください。

(配達にかかる日数は郵便局もしくは郵便局のWebサイトで確認してください。)
* 所定用紙は、文学研究科のWebサイトよりダウンロードして使用すること。
(<https://www.bun.kyoto-u.ac.jp/admission/masters-exam/>)

(3) 受験票について

受験票は下記期間にWeb出願システムからダウンロードして印刷し、当日持参すること。
また、同時期に受験上の注意事項をWeb出願システムのメッセージ機能を用いて通知するので必ず確認すること。

受験票ダウンロード期間：2025年7月9日（水）～試験当日まで

○小論文等の課題

(出願時にWeb出願システム上でアップロードしてください。)

- ・ **哲学**: (1) 大学院で取り組みたい研究についての研究計画書(日本語の場合 1,200 字以内、英語の場合 500 語以内)および(2) 哲学に関する論文を提出してください。論文は、日本語の場合 10,000～12,000 字程度、英語の場合 3,000～5,000 語程度にまとめてください。ただしこの条件に合致する卒業論文あるいはそれに相当する研究論文がある場合、そのうち一篇を(2)の論文に代えることができます。
- ・ **西洋哲学史**: (1) 大学院で取り組みたい研究についての研究計画書(日本語の場合約 1,200 字以内、英語の場合約 500 語以内)、および(2) 哲学ないし哲学史に関する論文を提出してください。論文は、日本語の場合 10,000～12,000 字程度、英語の場合 3,000～5,000 語程度にまとめてください。ただしこの条件に合致する卒業論文あるいはそれに相当する研究論文がある場合、そのうち一篇を(2)の論文に代えることができます。
- ・ **日本哲学史**: 自分の関心のあるテーマについて、日本哲学あるいは日本哲学史の観点から考察した小論文を提出してください。小論文は日本語で執筆し、参考文献表および必要に応じた注を必ず付けて、8,000～10,000 字程度にまとめてください。出身大学の卒業論文、またはそれに相当する研究論文の内容が、日本哲学に関連する場合、その論文を1部、参考資料として提出しても構いません。その論文が外国語で執筆されている場合は、3,000 字程度の日本語の要約を付け、併せて提出してください。
- ・ **倫理学**: 現時点で自分が関心をもつテーマについて、倫理的視点から考察した小論文(研究論文の体裁を備えたもの)を提出してください。小論文は、日本語で 8,000～10,000 字程度にまとめてください。すでに大学を卒業した者については、出身大学の卒業論文またはそれに相当する研究論文の内容が倫理学に関連する場合、その論文も併せて参考論文として提出してもよい(1 部)。ただしそれを小論文に代えることはできません。
- ・ **宗教学**: 現時点で自分が関心をもつテーマについて、宗教哲学的視点から考察した小論文(研究論文の体裁を備えたもの)を提出してください。小論文は、日本語で 8,000～10,000 字程度にまとめてください。すでに大学を卒業した者については、出身大学の卒業論文またはそれに相当する研究論文の内容が宗教哲学に関連する場合、その論文も併せて参考論文として提出してもよい(1 部)。ただしそれを小論文に代えること

はできません。

- ・ **キリスト教学**: 自分の関心のあるテーマに対して、キリスト教学的視点から考察した小論文(研究論文の体裁を整えたもの)を提出してください。小論文は、日本語で 10,000～12,000 字程度にまとめてください。すでに大学を卒業した者については、出身大学の卒業論文またはそれに相当する研究論文の内容がキリスト教学に関連する場合、その論文も併せて参考論文として提出してもよろしい(1部)。ただしそれを小論文に代えることはできません。
- ・ **美学美術史学**: 自分の関心のあるテーマに対して、美学美術史学的視点から考察した小論文(研究論文の体裁を備えたもの)を提出してください。小論文は、日本語で執筆し、本文を 10,000～12,000 字程度にまとめてください。なお、注、図版、図版キャプション、表、参考文献一覧などはこの字数には含まれず、別途、添付可能です。すでに大学を卒業した者については、出身大学の卒業論文またはそれに相当する研究論文の内容が美学美術史学に関連する場合、その論文も併せて参考論文として提出してもよろしい(1部)。ただしそれを小論文に代えることはできません。
- ・ **心理学**: 大学院において取り組みたい研究について、テーマ、着想に至った背景、目的、現在までの進捗状況をまとめた本文 4,000 字程度の小論文を提出してください。図表は字数に含めません。すでに大学を卒業した者については、出身大学の卒業論文またはそれに相当する研究論文の内容が心理学に関連する場合、その論文も併せて参考論文として提出してもよろしい(1部)。ただしそれを小論文に代えることはできません。
- ・ **言語学**: 大学院において取り組みたい研究について、a) テーマ、b) 着想に至った背景、c) 目的、d) 現在までの進捗状況など、をまとめた小論文を提出してください。小論文は日本文の場合 6,000 字程度、英文の場合 2,000 語程度にまとめてください。すでに大学を卒業した者については、出身大学の卒業論文またはそれに相当する研究論文の内容が言語学に関連する場合、その論文も併せて参考論文として提出してもよろしい(1部)。ただしそれを小論文に代えることはできません。
- ・ **社会学**: 自分の関心のあるテーマに対して、社会学的視点から考察した小論文を提出してください。小論文は、日本語で 8,000～10,000 字程度にまとめてください。すでに大学を卒業した者については、出身大学の卒業論文またはそれに相当する研究論文の内容が社会学に関連する場合、その論文も併せて参考論文として提出してもよろしい(1部)。ただしそれを小論文に代えることはできません。
- ・ **地理学**: 大学院において取り組みたい研究について、テーマ、研究の目的と意義、研究方法ならびに資料、現在までの研究の進捗状況と今後の見通しをまとめた小論文を提出してください。小論文の長さは 5,000～8,000 字程度とします。引用した文献のリストや図表(志望者自身が作成したもの)がある場合は、小論文に添付して提出してください。すでに大学を卒業した者については、出身大学の卒業論文またはそれに相当する研究論文の内容が地理学に関連する場合、その論文も併せて参考論文として提出してもよろしい(1部)。ただしそれを小論文に代えることはできません。

5. 選抜試験実施方法

選抜試験は第一次試験、第二次試験に分けて実施します。

第二次試験は、第一次試験合格者のみについて実施します。

選抜試験全般について、辞書を使用可と特記した以外の試験では、辞書の使用を認めません。

○第一次試験 (筆記試験)

(ア) 外国語試験

英語の筆記試験を行います。

ただし、外国人留学生（留学、文化活動等の在留資格を有する者）については、英語に代えて日本語の筆記試験を行います。

(イ) 専門科目試験

志望する専修に関する基礎的学力を問う専門試験を行います。ただし、各専修の試験内容については、以下を参照してください。

- ・ **哲学**: 哲学と西洋哲学史に関する基礎学力を問う筆記試験を行います。(西洋哲学史と共通)
- ・ **西洋哲学史**: 哲学と西洋哲学史に関する基礎学力を問う筆記試験を行います。(哲学と共通)
- ・ **日本哲学史**: 日本哲学史に関する基礎学力を問う筆記試験、および外国語試験(独語と仏語からいずれかを選ぶ。外国人留学生は、英語、独語、仏語から母語でないものを一つ選ぶ)を行います。
- ・ **倫理学**: 倫理学に関する基礎学力を問う筆記試験を行います。
- ・ **宗教学**: 宗教哲学・宗教学の基礎知識を問う筆記試験と、外国語試験(独語または仏語、留学生は英語、独語、仏語のうち母語でないものを一つ選ぶ)を行います。どの外国語を選択するかは、Web出願の際に「出願内容－専修選択科目の事前選択」の箇所に必ず登録しておいてください。
- ・ **キリスト教学**: キリスト教学に関する基礎学力を問う筆記試験を行います。(ギリシア語、ラテン語、ヘブライ語のうち一つの基礎的語学能力を問う問題を含む場合があります。)
- ・ **美学美術史学**: 美学美術史学に関する基礎学力を問う専門試験(日本語)と外国語試験を行います。外国語試験は、英語、独語、仏語、伊語から2科目を選択。ただし、日本・東洋美術史学専攻希望者に限り、英語、独語、仏語、伊語、漢文、日本語(古文)から2科目を選択することができます。
- ・ **心理学**: 心理学に関する基礎学力を問う筆記試験を行います。
- ・ **言語学**: 言語学に関する基礎学力を問う筆記試験を行います。
- ・ **社会学**: 社会学に関する基礎学力を問う筆記試験を行います。
- ・ **地理学**: 地理学に関する基礎学力を問う筆記試験を行います。

○第二次試験

(ア) 専門科目試験

志望する専修についての筆記試験を行います。ただし、各専修の試験内容については、以下を参照してください。

- ・ **哲学**: 英語(第1次試験で日本語を受験する外国人留学生のみ選択可)、独語、仏語、および論理学のうち一つの科目の筆記試験を行います。どの科目を選択するかは、Web出願の際に「出願内容－専修選択科目の事前選択」の箇所に必ず登録しておいてください。

い。

- ・ **西洋哲学史**: 近世を志望する場合、英語(第1次試験で日本語を受験する外国人留学生のみ選択可)、独語、仏語のうち一つの科目の筆記試験を行います。どの外国語を選択するかは、Web出願の際に「出願内容－専修選択科目の事前選択」の箇所に必ず登録しておいてください。古代を志望する場合にはギリシア語、中世を志望する場合はラテン語を、Web出願の際に「出願内容－専修選択科目の事前選択」の箇所に選択科目を登録してください。ギリシア語については、試験時に希英辞書を貸与します。
- ・ **日本哲学史**: 日本哲学史に関する専門知識を問う筆記試験を行います。
- ・ **倫理学**: 独語または仏語の筆記試験を行います。どの外国語を選択するかは、Web出願の際に「出願内容－専修選択科目の事前選択」の箇所に必ず登録しておいてください。
- ・ **宗教学**: 宗教哲学的思考力を問う論述試験を行います。
- ・ **キリスト教学**: 英語、独語、仏語のうち、第一次試験(ア)で選択しなかった1か国語の筆記試験を行います。どの外国語を選択するかは、Web出願の際に「出願内容－専修選択科目の事前選択」の箇所に必ず登録しておいてください。
- ・ **美学美術史学**: 美学美術史学に関する専門試験(日本語による論述試験)を行います。
- ・ **心理学**: 心理学に関する専門試験を行います。
- ・ **言語学**: 言語学に関する専門試験を行います。
- ・ **社会学**: 外国語と社会学に関する筆記試験を行います。外国語試験は、第一次試験で英語を受験した者は独文和訳・仏文和訳・和文英訳問題から一つを、第一次試験で日本語を受験した者は独文和訳・仏文和訳・英文和訳・和文英訳問題から一つを、選択してください。Web出願の際に「出願内容－専修選択科目の事前選択」の箇所に受験を希望するものの一つを必ず登録してください。
- ・ **地理学**: 論述問題および地理学文献の和文英訳の問題を課します。

(イ) 口頭試問

提出された小論文等の課題を中心として口頭試問を行います。

6. 選抜試験日程・合格者発表(試験場 京都大学大学院文学研究科)

1. 第一次試験	2025年8月4日(月) 外国語 午前9時～午前10時30分 専門科目 午前11時～午後0時30分
2. 合格者発表 (第一次試験)	2025年8月5日(火) 正午 文学研究科西側掲示場に発表します。 併せてWeb出願システムの合格発表で通知します。 なお、電話、メール等による問い合わせには一切応じません。
3. 第二次試験	2025年8月6日(水) 専門試験 午前10時～ 口頭試問 午後1時～
4. 合格者発表 (最終合格者)	2025年8月7日(木) 正午 文学研究科西側掲示場に発表します。 併せてWeb出願システムの合格発表で通知します。 なお、電話、メール等による問い合わせには一切応じません。

7. 入学料及び授業料

入学料	282,000 円
授業料	半期分 267,900 円 (年額 535,800 円)

注1：入学料及び授業料は予定額ですので、改定されることがあります。

入学時及び在学中に改定された場合には、改定時から新入学料及び新授業料が適用されます。

注2：入学料及び授業料の免除・徴収猶予については、2026年2月下旬頃に送付する入学手続きに関する書類で通知します。

8. その他の注意事項

- (1) 出願書類等の受理後は、いかなる理由があっても入学検定料は返還しません。
また、出願のため提出した論文等は返却しません。
- (2) 出願書類等提出上の注意
 - ・出願書類等の受理後は、出願事項の変更を認めません。
 - ・本研究科では、障害等があつて受験に配慮を必要とする入学志願者からの相談を受け付けます。受験上、配慮が必要な場合は協議をしますので、原則として2025年6月2日(月)までに、文学研究科教務掛に申し出てください。
- (3) 受験に関する注意
 - ・筆記試験において使用を許可するものは、黒鉛筆・シャープペンシル・鉛筆削り・消しゴム・時計(計時機能のみ)に限ります。
 - ・試験室への入室は、係員の指示に従うとともに、必ず受験票を係員に呈示してください。
- (4) 個人情報の保護について
「京都大学における個人情報の保護に関する規程」の定めるところに従い、出願書類等に記載された個人情報(成績判定に関する情報を含む)は、入学試験に関する手続き以外の目的には使用しません。
- (5) その他
 - ・2026年4月1日以降において、他の大学・大学院等に在籍する者は入学を許可しません。また、企業、公社・団体、官公庁、研究機関等に在職する者は、学業に支障がないよう配慮することについての当該所属長からの承諾書を入学手続き時に提出してください。なお、自ら事業を営む者及び職を持っているが企業等には在職していない者は、学業に専念することについての誓約書を入学手続き時に提出してください。
 - ・過去に実施された試験問題は、文学研究科教務掛窓口で閲覧できます。(身分証明書等を持参してください。)詳しくは文学研究科のWebサイトを参照してください。
著作権法との関係で、閲覧は窓口のみとなっております。受験希望者本人だけでなく、代理の方でも閲覧できます。
 - ・教務掛窓口業務時間は、文学研究科のWebサイトを参照してください。
 - ・本研究科の全専攻・専修(思想文化学専攻・行動文化学専攻を含む。ただし、京都大学・ハイデルベルク大学国際連携文化越境専攻を除く。)を対象とした入学試験は、2025年12月に出願、2026年2月に実施という日程で行います。
 - ・本研究科の京都大学・ハイデルベルク大学国際連携文化越境専攻は、2025年10～12月にオンライン出願・入学試験を実施します。同専攻出願者に求める語学要件は、従来どおりで変更はありません。